食品市場新聞

発行所
㈲食品市場新聞社
本社
神戸市兵庫区中之島1丁目1-4
電話（078）681-1046
大阪支局
大阪市福島区野田1丁目1-86
電話（06）6469-7607
講読料（1カ月）4000円

京都市中央卸売市場
京果グループ
京都青果合同株式会社
代表取締役社長　内田　隆
電話（〇七五）三一五-八二一二（総務部）

スーパー年間販売額
巣ごもりで2年連続増
前年比2%プラス　食料品は総菜の需要回復

昨年1年間の全国スーパー販売額は、13兆2135億円（店舗調整後の前年比2・3%増）となり、2年連続で前年実績を上回った。新型コロナウイルス感染拡大による巣ごもり需要で生鮮品が好調だったほか、都市部では通勤再開で総菜の需要に回復がみられ、食料品の販売が堅調に推移した。

日本チェーンストア協会が、会員56社・1万1897店の実績を集計した。食料品の販売額は、9070億円（1・9%増）。畜産品（0・7%減）は減少したものの、農産品（0・6%増）、水産品（1・9%増）、総菜（8・8%増）がプラスとなった。

食料品の販売は、帰省自粛や緊急事態宣言の再発令で1月から好調に推移し、2月以降も堅調な需要が続いた。10月以降は緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の解除を受け、家庭内での調理需要は一服したものの、食料品の販売額は総菜需要の回復もあって前年を上回った。

12月のスーパー販売額は、1兆3010億円（店舗調整後の前年同月比1・7%増）。新型コロナウイルスの感染者数は減少したものの、年末年始の行動自粛呼び掛けもあり、食料品はまずまずの動きとなった。

農産品（1・8%増）は、土物類が相場高で好調だった。水産品（0・4%減）は、価格高のカニ、冷凍魚介類で苦戦した。畜産品（1・5%減）は、牛肉が価格高騰で伸び悩んだ。総菜（4・3%増）は、クリスマス、年末の販売が好調だった。

一方、日本生活協同組合連合会がまとめた全国主要地域生協の12月供給高（売上高）は、2804億円（0・5%増）と3カ月ぶりに前年を上回った。店舗（3・1%減）は減少したものの、宅配（1・9%増）は菓子、冷凍食品が好調だった。

高島商事
兵庫県産品を練り込み
2月1日新発売　パスタのようなうどん巡り

㈱高島商事（神戸市、高島義典社長）は、うどんに兵庫県産品を練り込んだ「パスタのようなうどん巡り」シリーズを2月1日に発売する。

一昨年に日本三大ネギの一つとされる「岩津ねぎ」を練り込んだ「岩津ねぎうどん」を発売したが、道の駅などで底堅い人気から、ラインナップを増やしてシリーズ化する。新商品は「朝来の岩津ねぎ」に加え、「竹野のあかもく」「芦屋の米赤味噌」「上郡のモロヘイヤ」「明石の海苔」を新たに追加し、5種類とした。

モロヘイヤは農薬を使わず1枚1枚手摘みで生産し、あかもくはスーパーフードとして注目されるなど、体に良い良質な原料にこだわるとともに、「生産地の活性化につながれば」（同社）と開発した。着色料を使用せず、麺に自然の色合いを出していることもアピールポイントだ。

いずれもめんつゆとオリーブオイルが添付されているが、一般的な食べ方だけではなく、ゆでた麺を湯切りしてオリーブオイルを絡めて、パスタのようにソースで調理しても楽しめる。

高級感のある化粧箱に入った「うどん巡り」シリーズ

パッケージは、黒を基調に兵庫県の地図をあしらった。また、商品3品が入る化粧箱も用意。高級感のある黒い木目基調で、ギフトにも使用できる。

今後も新商品を追加していくが、他府県の特産品も開発し、ラインナップを充実させる。担当者は、「うどんにオリーブオイルが意外に合う。若い人にも食べてほしい」とアピールする。1品の内容量は228㌘で2人前。賞味期限は1年。高島商事☎078・652・0018。

食流機構
オンラインで説明会
来月8、17の両日開催　ポストコロナ緊急対策事業

食品等流通合理化促進機構は来月8、17の両日、オンラインで「ポストコロナを見据えたサプライチェーンの緊急強化対策事業」の説明会を開催する。

同事業は、2021年度の補正予算に盛り込まれたコロナ対策の一つ。中央卸売市場、地方卸売市場の関係事業者で構成する団体などが実施対象となる。

ポストコロナを見据えて実施するサプライチェーン改善・強化事業の経費の一部を補助する。対象となるのは、非接触型を前提とした事業をはじめ、アフターコロナを見据えた需要の維持・拡大事業など。

説明会は、両日とも午後12時半から午後1時半（卸売市場関係者向け）と午後2時から午後3時（食品卸売業者向け）の2回開催する。各回の定員は500人。後日、説明会の模様を動画アーカイブで配信する予定。

同機構のホームページから事前申し込みが必要。問い合わせは、同機構業務部（☎03・5809・2176）。

ハウス食品魚調味料
マヨペッパー来月新発売

ハウス食品㈱は来月14日、鮮魚部門専用メニュー調味料「ザックザックフィッシュ」から新商品「マヨペッパー風味のサーモン焼き」＝**写真**＝を発売する。

コロナ禍で家庭での調理機会が増加する中、調理ハードルが高く大変と思われている魚メニュー調味料を開発し、レパートリー拡充に貢献しようと新発売する。

マヨペッパー風味のサーモン焼きは、食感や形の異なる4種類の衣素材を使用し、これまでにない食感を実現した。魚の臭みを消しながら美味しさを引き立てるスパイスやハーブを配合。コクと酸味のあるマヨネーズ風味で、やさしくペッパーの香りが広がるように仕上げた。

内容量は2～3切れ分（32・8㌘）。参考小売価格は税込160円。

コロナ感染拡大防止策
保健所待たず自宅待機を
大阪市場が呼びかけ

大阪市中央卸売市場は25日、新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みについて、本場・東部・南港の3市場の事業者に文書で呼びかけた。

大阪府は感染急拡大の一時的な対応として、保健所における調査を重症化リスクの高い施設などを優先的に行っている。これに伴い各事業所に対し、保健所の調査を待たずに陽性者と濃厚接触の可能性のある従業員の10日間の自宅待機を求めており、場内事業者にも協力を呼びかけた。

また、改めて感染拡大防止の取り組みやガイドラインも配布した。

世界の味　GLOBAL FOODS NETWORK　KOBE YOKO
KY　株式会社　神戸洋行
本社：
神戸市中央区磯辺通4丁目2番8号
TEL：232-3521　FAX：232-3723
兵庫営業所：
神戸市兵庫区島上町2丁目1番22号
TEL：651-7121　FAX：651-0062
https://kobeyoko.co.jp/

農水省調べ
開花期好天で前年産上回る
21年産モモ・スモモ収穫量

農水省は25日、2021年産モモ、スモモの収穫量を公表した。いずれも着果数が増加し、不作の前年産を大幅に上回った。

モモの収穫量は、10万7300㌧（前年産比8%増）。山梨で開花期の天候に恵まれ、着果数が増加した。主産地の収穫量は、福島（7%増）、山梨（14%増）、長野（3%増）、和歌山（10%増）で増加した。

スモモの収穫量は、1万8800㌧（14%増）。山梨で開花期の天候に恵まれ、着果数が増加した。主産地の収穫量は、山梨（26%増）、長野（3%増）、和歌山（30%増）で増加した。

人事異動
大水（3月1日付）

◇**執行役員**　北部支社長兼大阪鮮魚部門北部鮮魚部長（北部支社長）花木章男
◇**部署長**　営業本部長付部長待遇（現日本水産㈱大阪支社食材営業部長）山下健一▽大阪鮮魚部門大阪鮮魚副統括兼本場鮮魚2部長兼本場鮮魚3部長（同大阪鮮魚副統括兼本場鮮魚3部長）丸山猛▽大阪鮮魚部門東部鮮魚部長（同北部鮮魚部長）三和幹治▽管理本部長付部長待遇・㈱大分水産出向（同部人事法務部付・同）衣本佳司

Goshoku　Foods for Uniting People　食が人をつなぎ、人が食をつなぐ
株式会社　合食
代表取締役社長　砂川雄一
本社　神戸市兵庫区中之島1-1-1
電話（078）672-7500番

神果の誠意・顧客の満足
神戸市中央卸売市場本場
神果神戸青果株式会社
代表取締役社長　原田俊一
URL　http://www.kobe-shinka.co.jp
本社　神戸市兵庫区中之島1丁目1番1号
神戸市中央卸売市場本場内
TEL（078）671-5512
明石支社　明石市藤江2029番地1
明石市公設地方卸売市場内
尼崎支社　尼崎市潮江4丁目4番1号
尼崎市公設地方卸売市場内